

10秒で読める！加賀ななえ市政ニュース Vol.31

～半世紀前のまま！？小中学校の通学区！～

現在ある多くの小中学校区が昭和50から60年代に開かれた学区審議会によって決められたものです。

現在、通学区の中には、町会と通学区が別となってしまうたり、近くに小学校（中学校）があるのに

遠くまで通学しなくてはいけなかったりする等、

コミュニティ、通学路の安全面で課題が生じています。

議会で通学区の見直しについて提案したところ、

大幅な人数の変動があれば慎重に研究するとの答弁でした。

今後、長期的な視点に立って改善を求めます。

(例)
羽沢3丁目
(鶴小が近いのに諏訪小)
諏訪1丁目・山室2丁目
(台中が近いのに東中)



●加賀ななえプロフィール

富士見市議会議員・鶴瀬東2丁目在住

平成3年5月19日生まれ（29歳・AB型）

自身の不登校経験から多様な学びの実現の実現が公約



@kel6773y



発行 加賀ななえ後援会 ななえ会

議会の質問内容

不登校支援の充実を！

適応指導教室あすなろの増室を



Q 適応指導教室は南畑にあり通うことが困難。
通いやすい場所に増室をするべき。

A 増室の必要性は痛感している。
今年度から試験的に各公共施設で
出張相談室の取り組みを始めた。



部長

教育相談室・学習室の機能強化を



Q 横浜市在校内フリースクールを例に、
小中学校の教育相談室の機能を強化するべき

A 小学校の教育相談室は相談員が
常駐していないので機能強化を検討する。
中学校ではオンライン授業を学習室で
見られるようにする。



部長

良かったこと

・小学校の教育相談室機能充実について
市が検討を始めること！

・中学校の学習室でタブレットを利用した
オンライン授業が受けられるようになること！

